

# 事務事業名 海外研修生受入事業

政策:05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策:04 学校家庭地域の連携

部名:教育部

基本事業:04 地域教育力の向上

課名:生涯学習課

| 計画年度   | 平成21年度 ~ 年度 | 事業区分   | 継続     | 会計区分   | 普通会計   |         |
|--|-------------|--|--------|--------|--------|---------|
| 1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）                               |             | 2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）   |        |        |        |         |
| 家庭   |             | [内容]<br>海外からの研修生を地域の家庭（中学生の家庭等）で受け入れる。<br>・平成21年度：ニュージーランド・パ克蘭ガ中学生20名の受入れ（2年に1度）<br>[手順]<br>1.日程の調整 2.受入中学校の決定 3.ホームステイ受入家庭への依頼 4.受入家庭との打合せ 5.研修内容・体験学習の準備 6.歓迎パーティの開催 7.ホームステイの実施 8.お別れ会の開催 |        |        |        |         |
| 3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）                     |             | 外国人研修生とのふれあいを通して、国際的な広い視野と感覚を養う。また、異文化を理解した地域人材の育成や教育力の向上が図れる。更には、国際交流にもつながる。  |        |        |        |         |
| 4 活動指標・成果指標・事業費の推移                                 |             |  |        |        |        |         |
| 区分   | 指標名称        | 単位   | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度当初 | 25年度目標値 |
| 活動指標   | 打合せ回数       | 回  | -      | 8      | -      | 10      |
| 活動指標   |             |  |        |        |        |         |
| 成果指標   | 受入家庭数       | 家庭   | -      | 18     | -      | 20      |
| 成果指標   |             |  |        |        |        |         |
| 事業費  |             | 千円   | 0      | 220    | 0      |         |
|  |             | うち一般財源   | 千円     | 0      | 220    | 0       |
| 5 目的妥当性  |             |  |        |        |        |         |
| 法定受託事業である（根拠法令）<br>妥当である<br>妥当性が低い                 |             | 海外からの研修生を地域の家庭（中学生の家庭等）で受け入れることにより、外国人生徒とのふれあいや国際的な広い視野と感覚を養うことができ、国際的な感覚を持った地域人材の育成や教育力の向上が図れる。   |        |        |        |         |
| 6 上位の基本事業への貢献度                                     |             |  |        |        |        |         |
| 貢献度大きい（理由）<br>貢献度ふつう（理由）<br>貢献度小さい（理由）<br>基礎的事務事業  |             | 国際理解教育の推進については、総合計画、生涯学習振興計画、社会教育施策等で取り上げられている。  |        |        |        |         |
| 7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討                               |             |  |        |        |        |         |
| 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる<br>対象や意図の見直しはできない<br>その他 |             | 山武市の中で地域（中学校区）を分けて実施する。  |        |        |        |         |
| 8 有効性（成果状況）  |             |  |        |        |        |         |
| あがっている<br>どちらかといえばあがっている<br>あがっていない                |             | H20・21年度派遣生が交流イベントに参加するなど交流機会が増大している。また、ホームステイを受け入れた家庭の生徒が次年度の派遣を熱望するなど相互交流の進展がみられる。   |        |        |        |         |
| 9 有効性（成果向上余地）                                      |             |  |        |        |        |         |
| 成果向上余地・大<br>成果向上余地・中<br>成果向上余地・小・無し                |             |  |        |        |        |         |
| 10 事業の再編成  |             |  |        |        |        |         |
| 類似の事業があり、再編成できる<br>類似の事業はあるが、再編成できない<br>類似の事業はない   |             | 山武市国際交流協会が鳴浜小学校を起点に韓国との国際交流事業を実施している。  |        |        |        |         |
| 11 効率性（コスト削減の方法）                                   |             |  |        |        |        |         |
| ある<br>ない   |             | ない   |        |        |        |         |